

溝渕将史は、2025 年 4 月 1 日付で在シカゴ日本国総領事に任命され、同年 5 月 10 日に着任した。総領事着任前は、外務省にて国際報道官を務めた。



これまで米国において 5 度の赴任経験があり、在アメリカ合衆国日本国大使館（1991～1993 年）、在ロサンゼルス日本国総領事館（2002～2005 年）、国際連合日本政府代表部（2007～2011 年）、および在ニューヨーク日本国総領事館（2016～2020 年）に勤務。直近では、在アメリカ合衆国日本国大使館にて公使参事官兼広報文化センター所長（2020～2022 年）を務めた。

国際会議の運営にも豊富な経験を有し、2023 年 G7 広島サミットおよび 2019 年 G20 大阪サミットでは副事務局長、2016 年 G7 伊勢志摩サミットでは事務局総括次長を歴任した。

2012 年から 2014 年には、外務省外交政策局において外交政策調整官として、アフリカ、中南米、ならびに開発協力や気候変動といった地球規模課題に関する政策を幅広く担当。

1999 年から 2002 年にかけては、内閣総理大臣秘書官付として、小渕恵三、森喜朗、小泉純一郎の各総理大臣に仕えた。

1988 年、慶應義塾大学法学部卒業。